令和8年度　大田区立多摩川小学校　自己評価　報告書

○　本校の概要

令和8年10月1日

本校は、児童数578名、19学級、教職員数59名からなる特別支援教室の拠点校であり、昨年度に開校70周年を迎えた。保護者や地域住民は、70周年の記念行事（記念式典、記念祝賀会、記念フェス）を同日内に開催できる企画・運営力があり、日頃から本校への教育活動や地域活動に対して高い熱意があり、協力をいただいている。今年度は、これまで培ってきた地域社会との絆を更に強固にし、新たな合言葉である「笑顔とあたたかさで未来を創り出す水辺の学校」のもと、75周年、80周年の節目を見据え、「地域を知り、地域を愛し、地域に貢献するこどもの育成」を推進していく。こどもを核とし、大人も地域も一丸となって“笑顔”があふれる学校運営を目指す。

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
個別目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 6学校での勉強や生活で、自分のよいところを出すことができている。→（結果） □保護者アンケート	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④あゆみとキャリアパスポートを連動させ、児童一人一人の「自立」を目指す育成を図っている。児童が設定した目標に応じた指導と助言を適切に行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標2 世界とつながる国際都市おおたを担う人材を育成します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート □保護者アンケート 21学校は、地域の力（保護者以外）を子どもたちの教育活動に活かしている。→（結果）	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④学校は、児童に地域行事の周知や参加を呼びかけ、地域と連携して児童の地域への愛着や誇りをはぐくんでいる。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 1学校の学習は、よくわかる。→（結果） 3すすんで読書に取り組んでいる。→（結果） 4休み時間には、外で遊んだり、持久走の練習やなわとびなどをしたりして、がんばっている。→（結果） □保護者アンケート 1多摩小の子どもは、意欲的に学習（読書も含む）に取り組んでいる。→（結果）	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		⑤読書計画をもとに、読み聞かせや読書の機会を確保し、本に親しむきっかけを作り、読書活動の充実と読解力の向上を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標4 学校力・教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 6学校での勉強や生活で、自分のよいところを出すことができている。→（結果） □保護者アンケート 1多摩小の子どもは、意欲的に学習（読書も含む）に取り組んでいる。→（結果） 2多摩小の子どもは、学年に応じた基礎的な学力が身に付いている。→（結果） 13学校は、学年に応じた基礎的な学力を身に付けさせるための指導の工夫をしている。→（結果）	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
		④一人一人の教員が、校内研究やOJT、主任会や学年会を生かしながら、各教科等の教材研究や生活指導等について考え、指導力を向上させている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標5 自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 5学校のきまりを守って、学習や生活をしている。→（結果） 7友だちのよいところをほめたり、はげましたりしている。→（結果） □保護者アンケート 6多摩小の子どもは、自分を大切にして周りの人に思いやりの気持ちをもって生活している。→（結果） 10多摩小の子どもは、楽しく学校生活を送っている。→（結果） 11多摩小の子どもは、先生に話を聞いてもらったり相談したりしている。→（結果） 14学校は、社会のマナーやルールの指導をしている。→（結果） 15学校は、一人一人を大切にし、思いやりの心を育てる指導をしている。→（結果） 16学校は、一人一人の子どもを褒め、励ますことを心掛け指導をしている。→（結果） 19学校は、子どもの話をよく聞き、対応している。→（結果）	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④教員が児童に寄り添いながら、観察（見取り）や指導を行っている。また、課題に対して迅速で細やかな対応を年間を通じて行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標6 全・軟で創造的な学習空間と安・安心な教育環境をつくります	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 9クロムブックやスマートフォン、ゲーム機など、インターネットにつながる機械を、ルールやマナーを守って使うことができている。→（結果） □保護者アンケート 3多摩小の子どもは、社会のマナーやルールを守って生活している。→（結果） 4多摩小の子どもは、あいさつや返事、言葉遣いなどの基本的な生活習慣が身に付いている。→（結果） 20学校は、環境を整備し、校内美化に努めている。→（結果）	4: 3: 1:			A B D		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教員は、危険な場所がないか、危険な場所を作っていないかを常に考え、児童が安全に過ごせる教育環境を意識的につくり、日々の指導を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標7 学校・家庭・地域の連携・協働による地域コミュニティの核としての学校をつくります	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		取組評価の項目に児童・保護者のアンケート結果を加味して成果評価を行う。 □児童アンケート 2学校や家庭で言われなくても宿題に取り組んでいる。→（結果） 8安全に気をつけて、登校や下校をしている。→（結果） □保護者アンケート 5ご家庭で、社会のマナーやルールを教えている。→（結果） 7ご家庭は、子どもの気持ちを受けとめ、心を育てる指導や基本的な指導をしている。→（結果） 8ご家庭は、子どもをほめ、励ますことを心掛けている。→（結果） 9ご家庭は、学校やPTAの行事に積極的に参加している。→（結果） 12ご家庭では、子どもとよく話し、相談にのっている。→（結果） 17学校は、教育活動を公開し、たよりやホームページで学校の様子を伝えている。→（結果） 18学校は、保護者や地域と連携して子どもを育てている。→（結果） 21学校は、地域の力（保護者以外）を子どもたちの教育活動に活かしている。→（結果） 22保護者は、朝ごはんをこどもと一緒に食べている。→（結果） 23保護者は、こどもの起きる時や寝る時に声をかけている。→（結果） 24保護者は、こどもの意欲と好奇心を引き出す、楽しい会話を増やしている。→（結果） 25保護者は、学校に関心をもって足を運んでいる。→（結果）	4: 3: 2: 1:			A B C D		
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④CSの熟議を生かし、教員が「地域を知り、地域を愛し、地域を笑顔にする」を意識した指導を行っている。教員が保護者や地域とのかかわりを積極的にも、児童にも人とかかわることの大切さを指導している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適切ではない　D：評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。